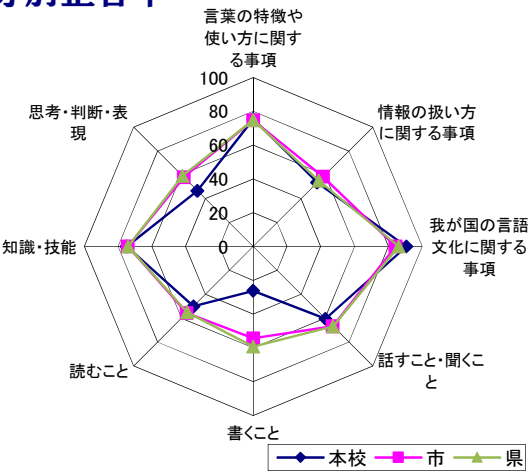


宇都宮市立錦小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使いに関する事項	75.5	74.7	74.8
	情報の扱いに関する事項	53.5	58.4	55.0
	我が国の言語文化に関する事項	90.7	84.3	86.1
	話すこと・聞くこと	60.5	66.7	66.9
	書くこと	26.2	54.3	59.3
	読むこと	50.0	55.6	55.2
観点	知識・技能	74.8	74.1	74.0
	思考・判断・表現	46.7	58.0	59.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使いに関する事項	・平均正答率は、県や市の平均正答率とほぼ同じである。 ○主語と述語に関する事項の設問に対する平均正答率は72.1%で県の平均を6.2ポイント上回っており、概ね定着しているといえる。 ●漢字の読み書きに関する事項の設問に対する平均正答率は、ほぼ同じである。漢字によって正答率はばらつきがみられる。	・漢字の読み書きについては新出漢字だけでなく既習の漢字も繰り返し復習することで、定着を図る。 ・文章の構成を理解できるように、物語文の学習において主語と述語を確かめるようにする。
情報の扱いに関する事項	・平均正答率は、県や市の平均正答率よりもやや低い。 ●国語辞典の使い方に関する問題では、県の平均正答率を1.5ポイント下回っている。	・国語辞典や漢字辞典を繰り返し活用し、使い方の定着を図る。
我が国の言語文化に関する事項	・平均正答率は、県や市の平均正答率よりも高い。 ○漢字のへんやつくりについての問題では、県の平均正答率を4.6ポイント上回っている。	・漢字のへんやつくりについては、へんやつくりを学習する单元だけでなく、他の单元で新出漢字を学習する際にも確認し、繰り返し復習することで、さらなる定着を図る。
話すこと・聞くこと	・平均正答率は、県や市の平均正答率よりも低い。 ●参加者の発言の内容に着目して、司会者の発言に適合する内容を書く設問に対する平均正答率は20.9%で、県の平均正答率を8.7ポイント下回っており、課題が見られる。 ●自分の考えを理由を挙げながらまとめる設問に対する平均正答率は65.1%で、県の平均正答率を9.4ポイント下回っている。	・話し合いの機会を増やし、話すこと・聞くことのスキルを高められるよう指導する。 ・司会者としての役割を理解させ、発言者の意図をとらえながら聞き、他者の考えと比べながら考えをまとめられるよう支援する。
書くこと	・平均正答率は、県や市の平均正答率よりも低い。 ●段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書く設問に対する平均正答率は、20.9%で県の平均正答率と比べて低く、23.6ポイント下回っている。	・文字数や段落構成を指定した文章を書く活動を意識的に取り入れる。 ・自分の考えを文章で表現したり書いた文章を友達と互いに読み合ったりする活動を通して、児童同士が助言し合うことにより、よりよい文章を書こうとする意欲を高める。 ・文章を書き始める前に、文章全体の構成を考える指導を行う。
読むこと	・平均正答率は、県や市の平均正答率よりも低い。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する設問に対する平均正答率は46.5%で県の平均正答率よりもやや高い。 ●段落の内容を捉え、前半と後半に分ける設問に対する平均正答率は14%で正答率が低く、課題が見られる。	・物語文の学習では、登場人物の気持ちの変化や叙述について考えを深め合う時間を十分とり、読み取りを丁寧に行う。 ・物語や説明文の指導の際には、段落の関係性にも注意して指導を行う。